

大船渡湾内観測結果(No.11)

“今月の話題”

湾内の水温は6～8℃台であり、例年並みとなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、年間で低い時期となっています。

2月20日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

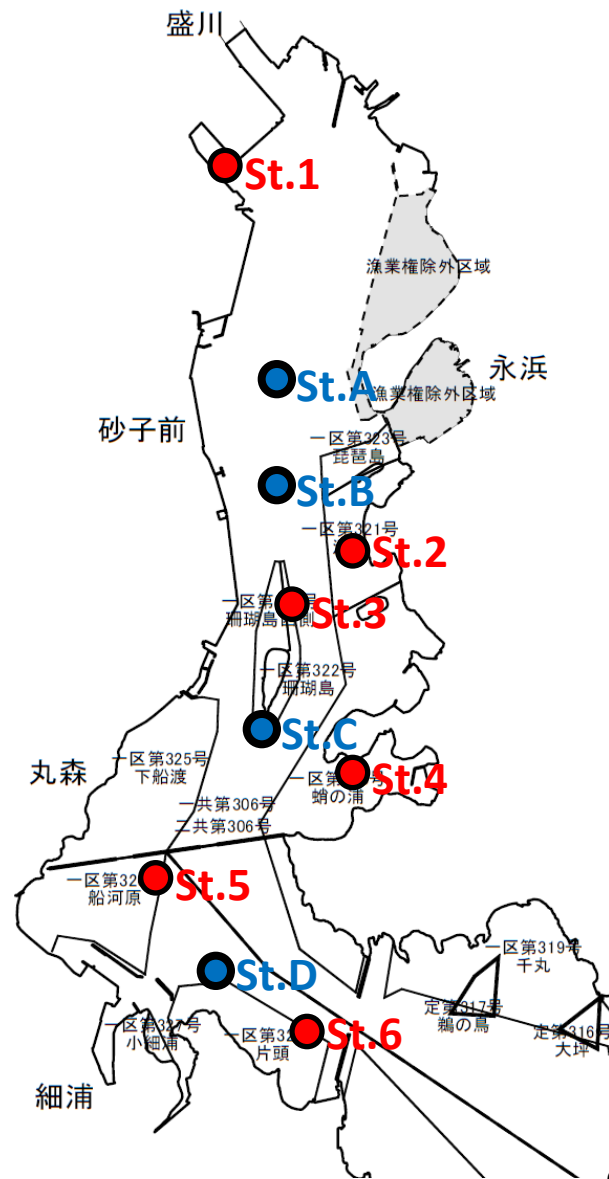
透明度は7.5～14.5mであり、平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、+0.1～+3.9mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが6.8～8.1℃、水深10mが7.4～7.8℃でした。平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、水深2.5mが-0.5～+0.1℃、水深10mが-0.4～0.0℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾

調査担当:水産技術センター、大船渡水産振興センター

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成30年2月20日					
観測時刻		11:37	11:53	11:14	10:57	10:42	10:23
天候		晴					
気温(°C)		2.2					
風向		NW					
風力		3					
水深(m)		8.5	24.1	27.0	19.0	25.0	37.0
透明度(m)		7.5	12.0	9.5	13.5	14.5	12.5
水色		6	5	6	4	5	4
水温(°C)	表層0m	8.2	7.4	7.4	6.8	6.9	7.4
	水深2.5m	8.1	7.5	7.5	6.8	7.5	7.4
	水深10m	-	7.8	7.8	7.8	7.5	7.4
	海底上1m	8.2	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
塩分	表層0m	33.6	33.3	33.3	33.4	33.4	33.7
	水深2.5m	33.8	33.5	33.4	33.5	33.6	33.7
	水深10m	-	33.8	33.8	33.8	33.7	33.7
	海底上1m	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	98.9	100.3	99.7	99.6	99.5	101.8
	水深2.5m	99.5	100.4	100.0	99.9	100.1	101.9
	水深10m	-	102.3	103.3	100.8	99.5	101.0
	海底上1m	98.6	96.9	97.7	99.1	99.4	98.9
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.4
	水深2.5m	0.8	0.3	0.4	0.2	0.4	0.4
	水深10m	-	2.0	2.4	1.1	0.6	1.0
	海底上1m	1.3	0.7	1.2	1.2	1.1	1.3



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

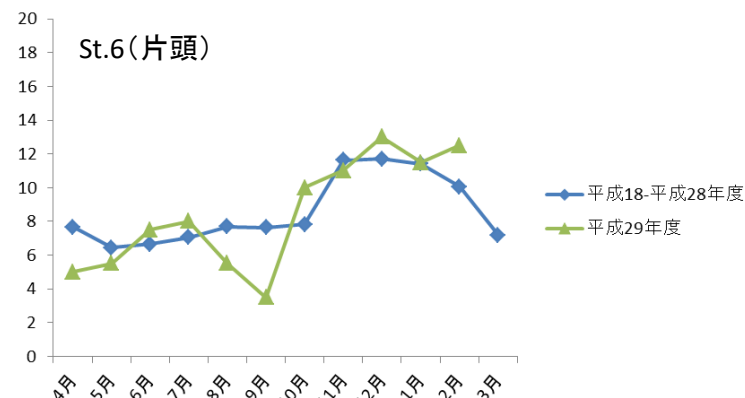
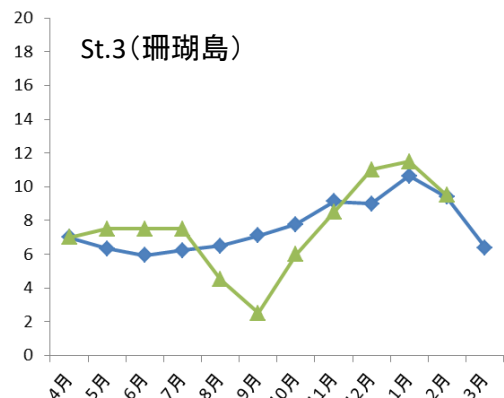
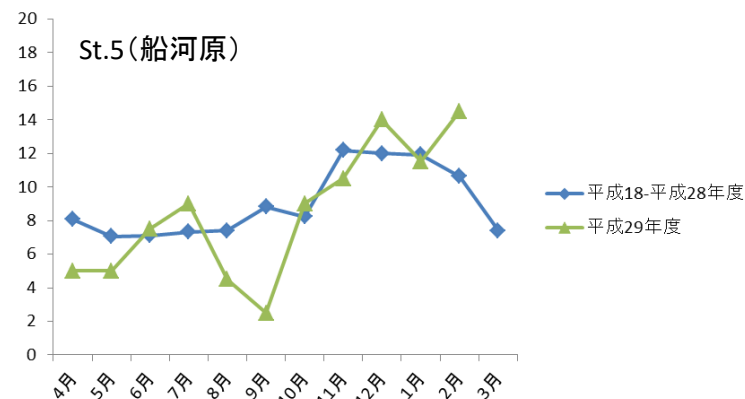
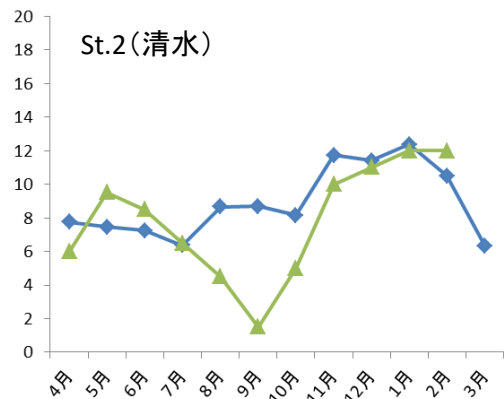
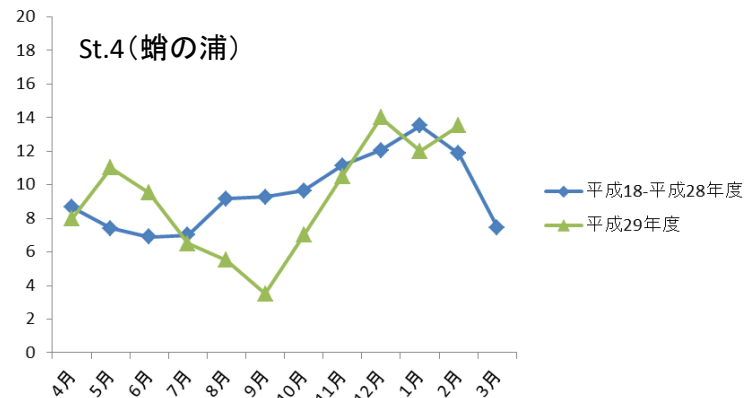
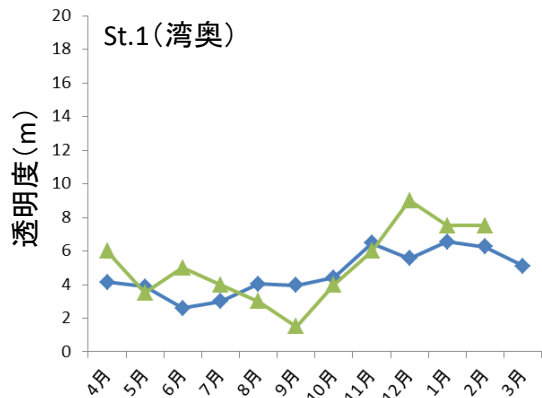


図2 透明度の推移

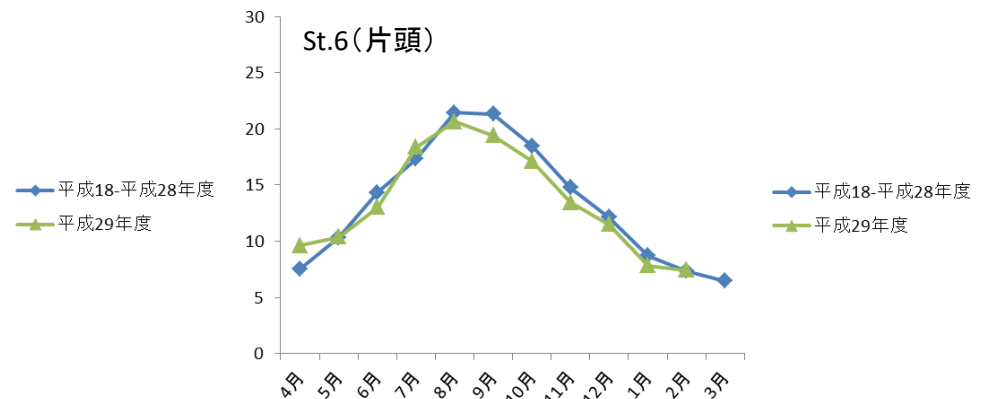
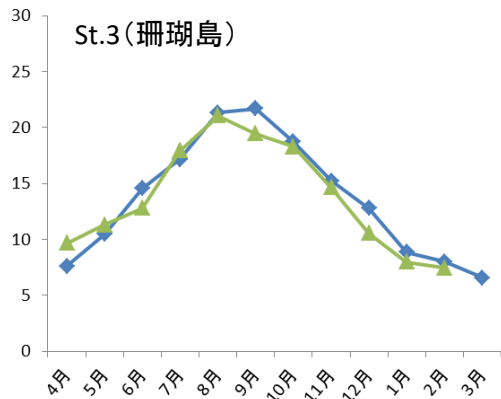
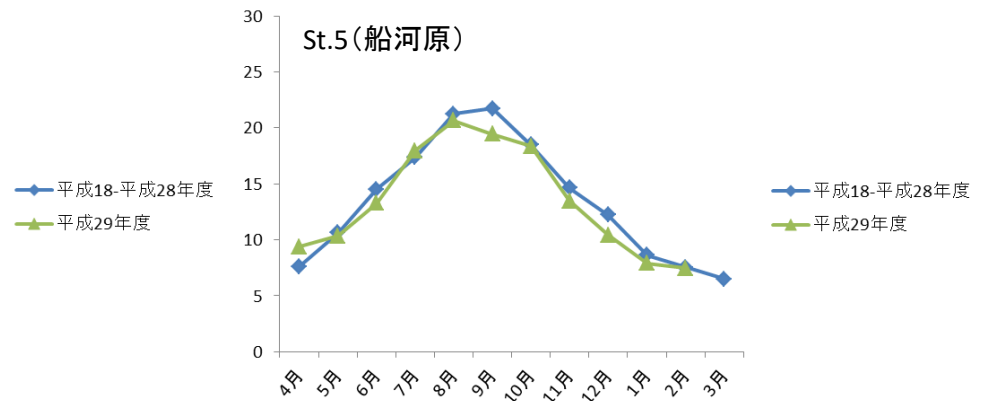
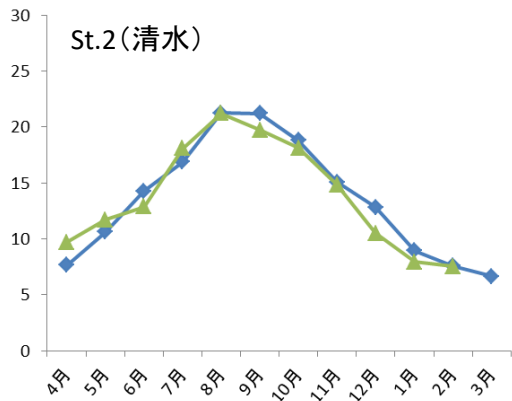
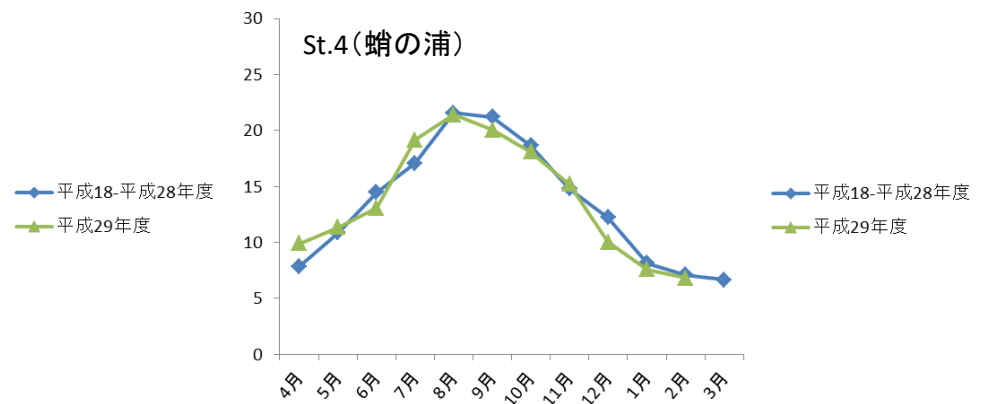
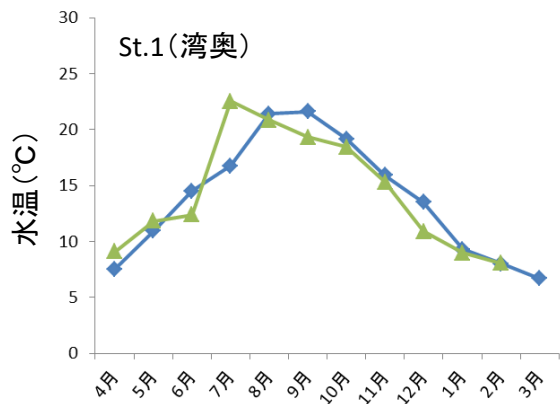


図3 水深2.5mの水温の推移

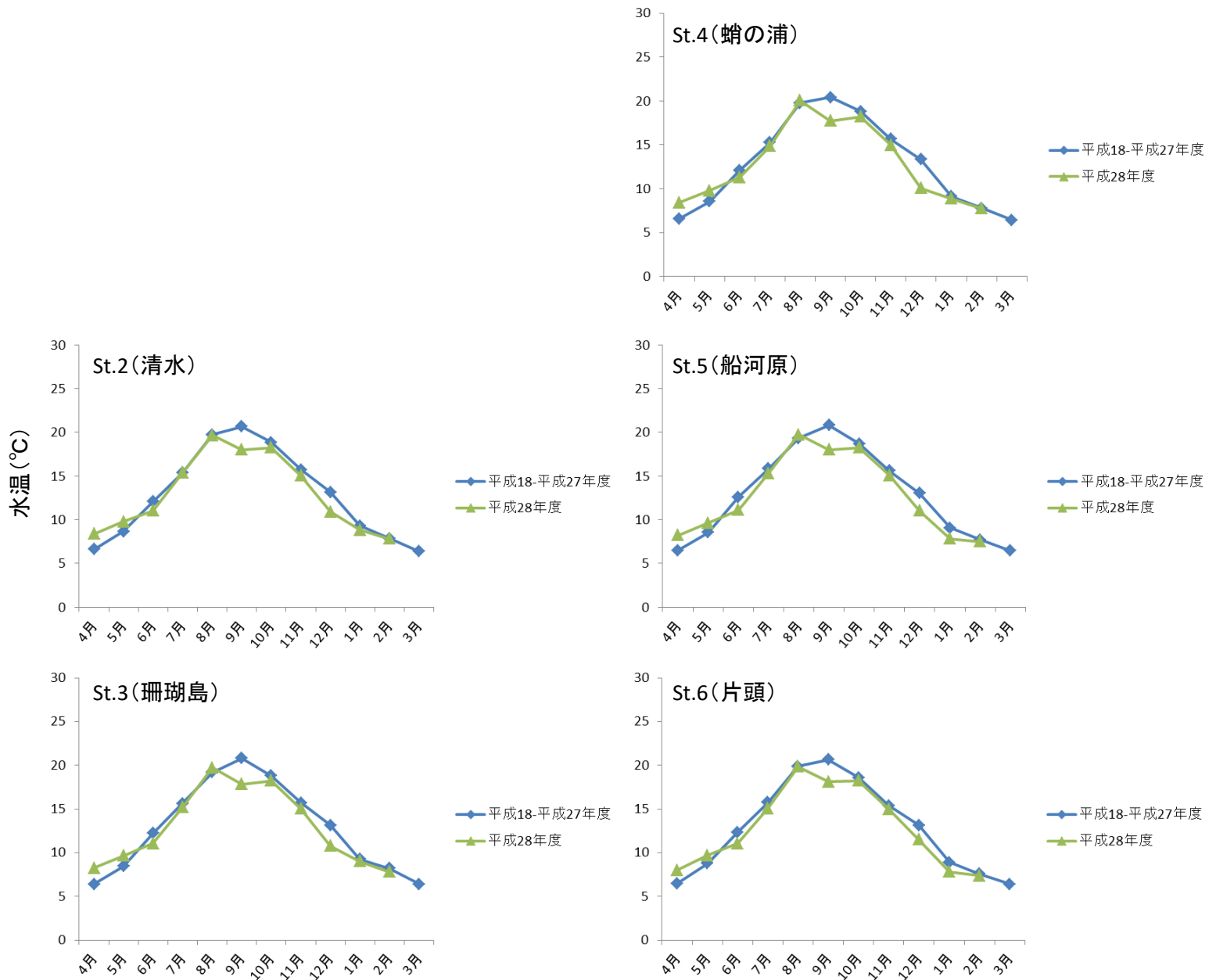


図4 水深10mの水温の推移

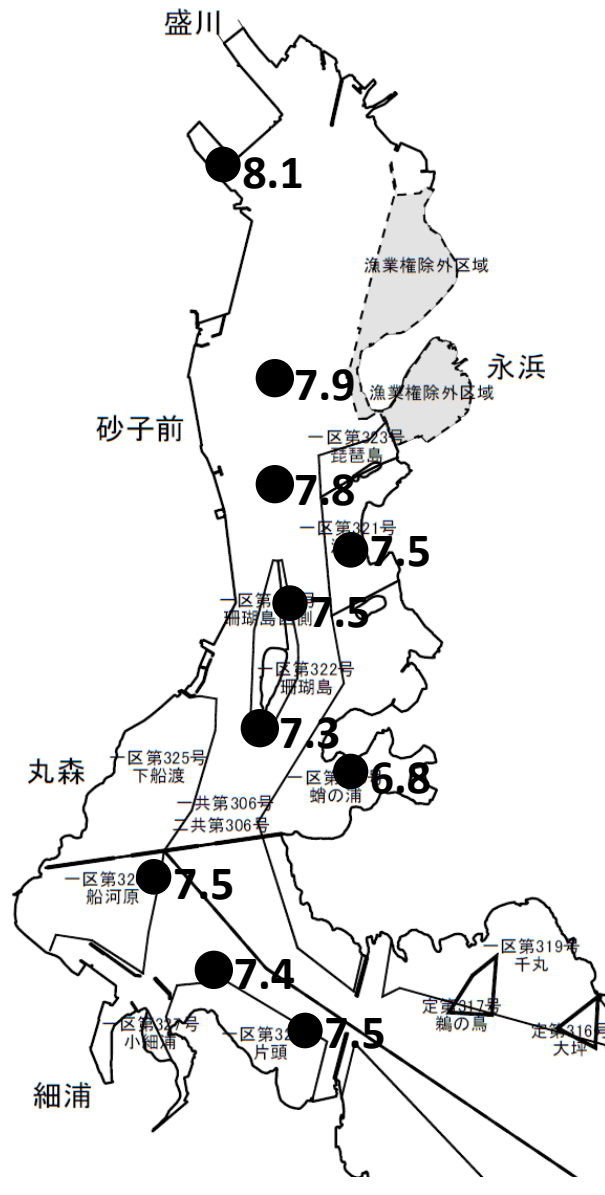


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

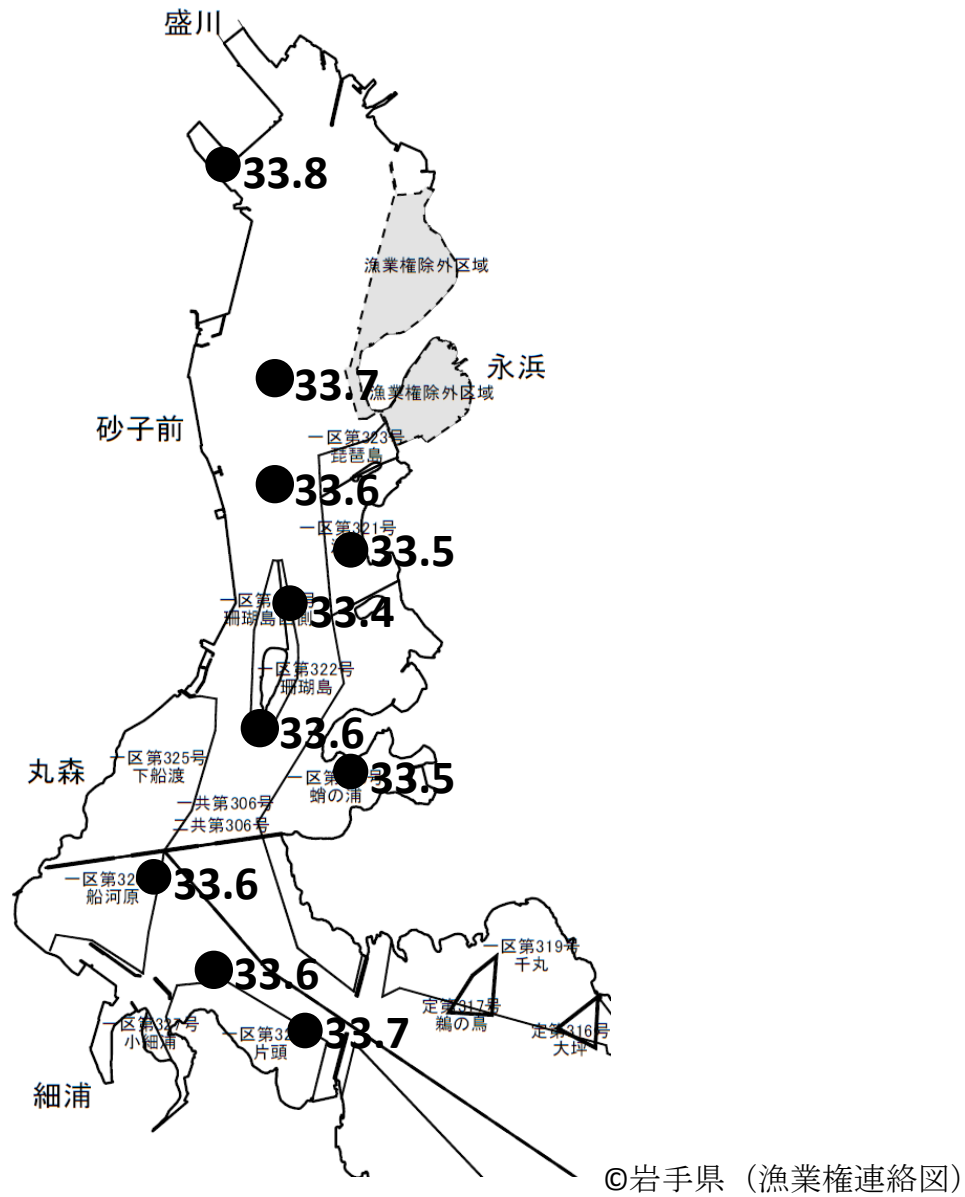


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

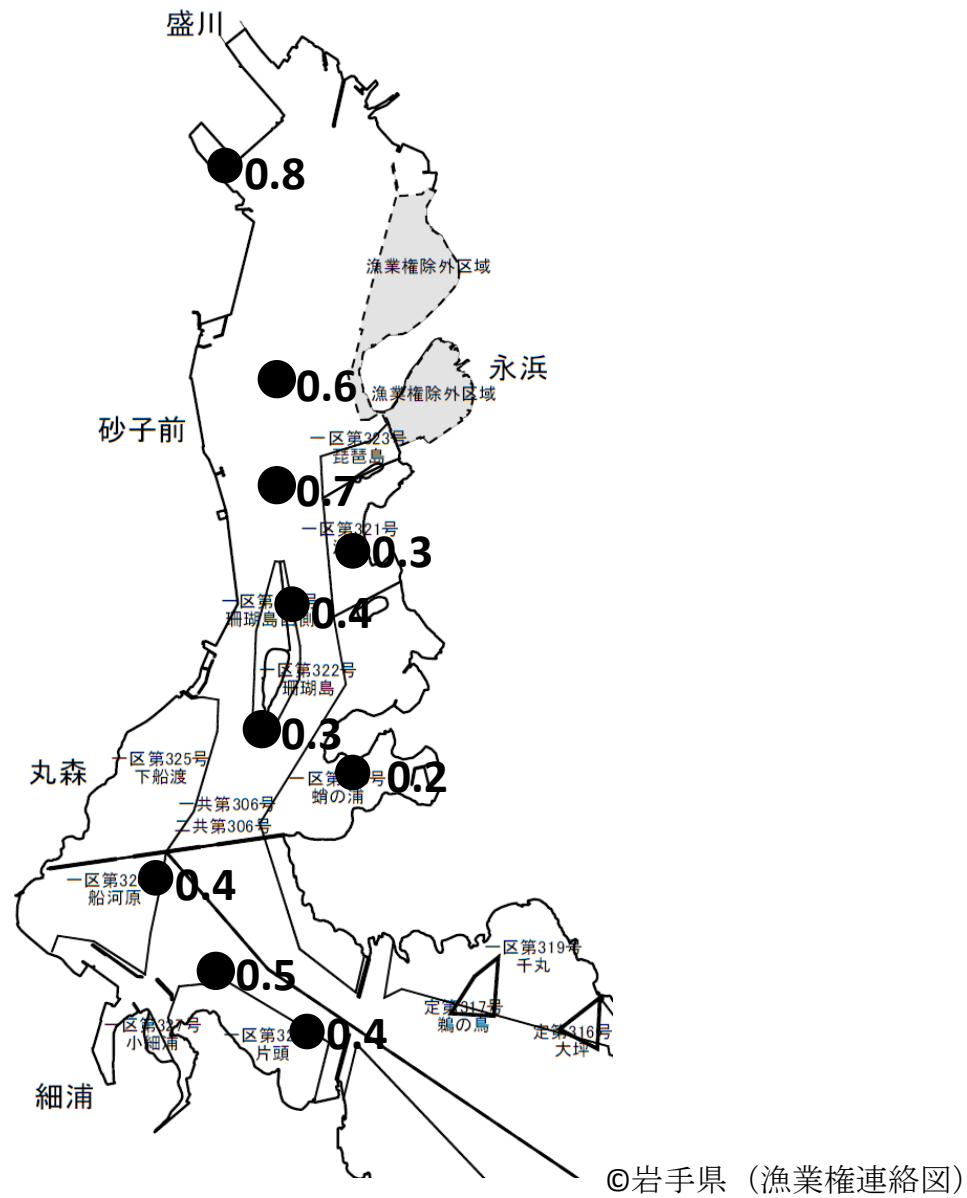


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。